

は一八二四八噸、一九〇八年には一一九、二四〇噸に激増せるを視る、以て保護關稅の效果空しからざるを知るに足る、更に製鋼業は夫れ以上の成績を示し一八九五年には五〇、三一四噸なりしか一九〇八年には一四三、七六七噸に達したり。

## 八、白耳義

### 鐵鑛供給(鐵道運河)

歐羅巴の鐵工業國中白耳義は其消費國としての性質を最も多く具備す、

白耳義は鐵工業の盛大なるに比較する時は其鑛産額は至つて少し、然も今日の製鐵業の盛大を招致せしめたる理由は其地勢上、外國(佛、西、瑞、露、就中佛)より原鑛を輸入するに便利なること、石炭の豊富なるに依らすんは非す。

白耳義は通過貿易の國として有名なるか鐵鑛に關しても亦然り、試に地圖を披きて之を見るにルクセムブルグ、白耳義、佛蘭西、獨逸は相集團して存す、而して其何れの國も皆多少の鐵鑛産地を有す、然も政治上の分界線は經濟上殊に鐵鑛層の存在と何等相關する處なく、獨逸の製煉所か佛蘭西の鑛山を有する事可能なると同じく、白耳義人か佛蘭西に於て、佛蘭西人かルクセムブルグ公國に於て鑛山又は製煉所を有するに不可あるなし。

然るに之等三國は相異なる鐵鑛運送賃率を有す、而して白耳義及佛蘭西の賃率は獨逸に比し低廉なるか故に佛蘭西の鑛石にして直接獨逸の製煉所に送るよりも白耳義を経て送鑛するを利とするもの多く、又實際此の如くにして白耳義は通過貿易の利を壟斷しつゝあり、獨逸が白耳義より鐵鑛を輸入すること多きの理は茲に存す。

白耳義の鐵鑛供給は前述したるが如く佛蘭西及ルクセムブルグのミネットにより安全なるものなるが、此ミネット輸入をして更に容易ならしむるの道なきや否やか同國製鐵業並に通過貿易上研

究すへき問題に屬す。

白耳義は既に細かき鐵道網を有し其賃率低く加ふるに良好なる多數の運河を有す、然れともルクセムブルグとアントウエルプとを連絡する處の直接の水路なし、此運河成工せは白耳義の國民經濟を二個の方面より利するものなり。

其一、鐵鑛を此水路により低廉に製煉所迄運送することを得

其二、既製貨物を海岸迄廉價に輸送するを得

此運河開鑿に就ては十九世紀の二十年代に於て既に和蘭人によりて計畫されたることありしか政治上の理由、即ち白耳義獨立運動の爲めに中絶せられたり、蓋し當時和蘭人が此運河を開鑿せんとせし目的は之によりルクセムブルグ及ロートリンゲン地方に販路を開きライン地方と商業戰爭を開始せんとするにありしを以て、白耳義人に取りては此運河工事を繼續するの理由はなかりし也。

然るに近年に至り白耳義の製鐵所に最も低廉なる運賃により原料鑛を供給せんか爲めにモーズル、マース運河工事が再び問題となり、白耳義政府は調査委員會を設けて此案を調査せしめ同時に舊運河跡をも踏査せしめたるが、同委員會は舊運河跡も亦有利に利用するを得る旨を報告せり、唯此計畫に就て最大の困難は金錢上及技術上の問題なるが、其成立か非常に大なる國民經濟上の利益なることに就ては之を疑ふの餘地なし。

### 關 稅

白耳義は和蘭と分離後從來重きを置かさりし原料鐵の關稅を一〇〇キログラムに就き二フランに引上げ、棒狀鐵關稅も一二、五〇フランとなせしか一八四三年鐵の價格の危機に際し原料鐵關稅を五フランに引下げたり。

此關稅の效果は骸炭鐵か木炭鐵を壓倒したる後、自國の製鐵業を頗る有力ならしめたる點に存す。

一八六一年以來佛蘭西其他の諸國と相約し低率關稅表を作製せり、其後數回の變遷を経て今日に至れるか鐵製品中有稅なるものも其率極めて低し。

由來同國は商工國として其發達理想的の域に達し、其面積に比して人口の多數なるは又人の克く知る所なり、國情かくの如くなるか故に保護關稅により其工業を更に發達せしむるの餘地極めて少く寧ろ門戸を開放して來る者を拒まず、以て一面通過貿易の利を壟斷して他面に同國商品の外國に於てなる可く優遇せらるゝを圖るは策の尤も宜しきを得たるものとす、同國商業政策か寧ろ自由貿易的傾向を帶ふる多きは素より其處とす。

## 九、瑞典

### 鐵鑛供給(鐵道)

瑞典松か歐羅巴市場に聲價ある如く、瑞典鐵は又其品質の良好なるを以て鳴る、此良好なる品質は優秀なる鐵鑛と木炭製煉の産物なり。

瑞典も亦鐵鑛の豊富なるに拘らす石炭に缺乏せるを以て其製鐵業は全然木炭による、然かも鑄鑛爐か益々多量の燃料を要求するに至れると近時牧畜業が次第に隆盛となれる等のため、森林か斬次浸蝕せられしとにより燃料の供給又昔日の如く自由ならず、從て又外國製鐵業との競争も亦漸く困難となれり。

瑞典の地勢は水力の利用に便利なるを以て木炭に代ゆるに、水力電氣を以てすへしとは古くより唱へられたる處なれとも、電氣應用の鑄鑛爐か例令技術上可能なりとするも經濟上果して有利に行はる可きや否やは今も尙疑問なりとす。

然れとも電氣應用の希望あるか爲に、ラブランドの鐵鑛地は一般に瑞典の鑛石供給處と思考され之を保存するか爲に輸出稅を設く可しとの議あり。